

2010

JOBURG EXPRESS

5月 発行 No.16

ヨハネスブルグ日本人学校 中島緑郎

開会式会場・サッカー・シティ・スタジアム！

いよいよ来週はワールドカップが開幕します。私の家はヨハネスブルグの北側、ランドバーグという地域にあるのですが、息子が野球の練習でよく通っていたスポーツパークにブラジル代表が合宿していました。博物館があってキャンパス内に散歩しに行くヴィッツ大学には、オランダ代表と南アフリカ代表が合宿しています。交差点は出場国の国旗を売る歩く黒人さんであふれていますし、ショッピングセンターではブブゼラ(南ア独特の応援楽器)がたくさん売られていて、いよいよだなと感じます。



ヨハネスブルグの南、アパルトヘイト時代には黒人居住区だったSOWETOに造られたサッカー・シティ・スタジアムです。収容人員は80,000人。開幕戦と決勝戦の会場です。学校からはほんの20分。



これがW杯のチケットです。ネットで購入し、先日引き換えてきました。私は5試合観戦予定。



見学に行ったのはほんの2週間前です。でも周囲はまだこんな状態。絶対に本番に間に合わないでしょう。でも「これがアフリカ」。

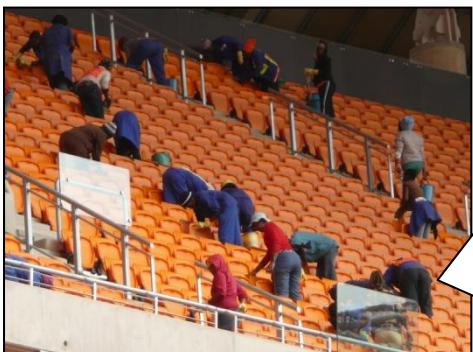


実はここの見学ツアーも最初は“W杯まで予約でいっぱい”と断られましたが「何でも交渉次第」というのもアフリカ式。お金を払えば関係なし。



ガイドに従ってぞろぞろと歩いて入りましたが、やっぱり中も工事中。来週までにできてなきや、それこそ世界中の笑いモノになりそうですが…。

さすがにグラウンドの芝は素晴らしいです。日本代表がここで試合をするには決勝にあがるしかありません。決勝戦のチケットも申し込んだのですが、抽選に外れてしまいました。アフリカの壺をイメージしたという外観を裏側から見るとこんな風になります。



スタンドではたくさんの人々(みんな黒人)が一つ一つ座席をふき掃除していました。アパルトヘイトは終わっていますが、この国が黒人たちの安い労働力で支えられていることは間違いないかもしれません。スタジアムの周辺にも、まだまだ貧しい人々がたくさん住んでいます。ベンツを何台も持っている白人と、1日数百円で働く黒人が、本当に平等になれるのはいつ…?



最近たくさんのメディアから取材を受けている日本人学校。NHK『地球アゴラ』、『週刊子どもニュース』などなど。ぜひ見て下さい。多分私は映っていないと思いますが。

To Be Continued! ▶